

⑤ 公共空間デザインプロジェクト

主な実施主体：知立市都市開発課、有識者 等

- 新しく整備される道路や公園、駅前広場等の公共空間の計画やデザイン検討を通じて、西三河、そして知立市の玄関口にふさわしい景観づくりを推進

HUB

PARK

2024年度の実施事項

- これまでエリアプラットフォームでの議論やワークショップの意見をもとに、専門家とのワーキングを行いながら、駅前広場や周辺街路・公園のデザイン検討を進めました。
- 高架下の活用方針や駅前公園・堀切公園の計画具体化のための調査にも着手し、周辺の自転車等の通行量調査や市民アンケート、民間事業者へのヒアリングを進めています。



駅前広場のデザインイメージ

※このイメージは現在計画中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

今後の取り組み

- 引き続き周辺デザイン検討を進め、知立駅前にふさわしい、一体的な公共空間デザインを実現します。
- 高架下空間の活用や駅前公園・堀切公園について、民間事業者と連携した取り組みの可能性を検討します。

公共空間デザインプロジェクトの報告

エリアプラットフォーム検討会議 令和7年9月16日

1. 駅周辺都市計画事業の意義

2. 賑わいづくりに関する方針

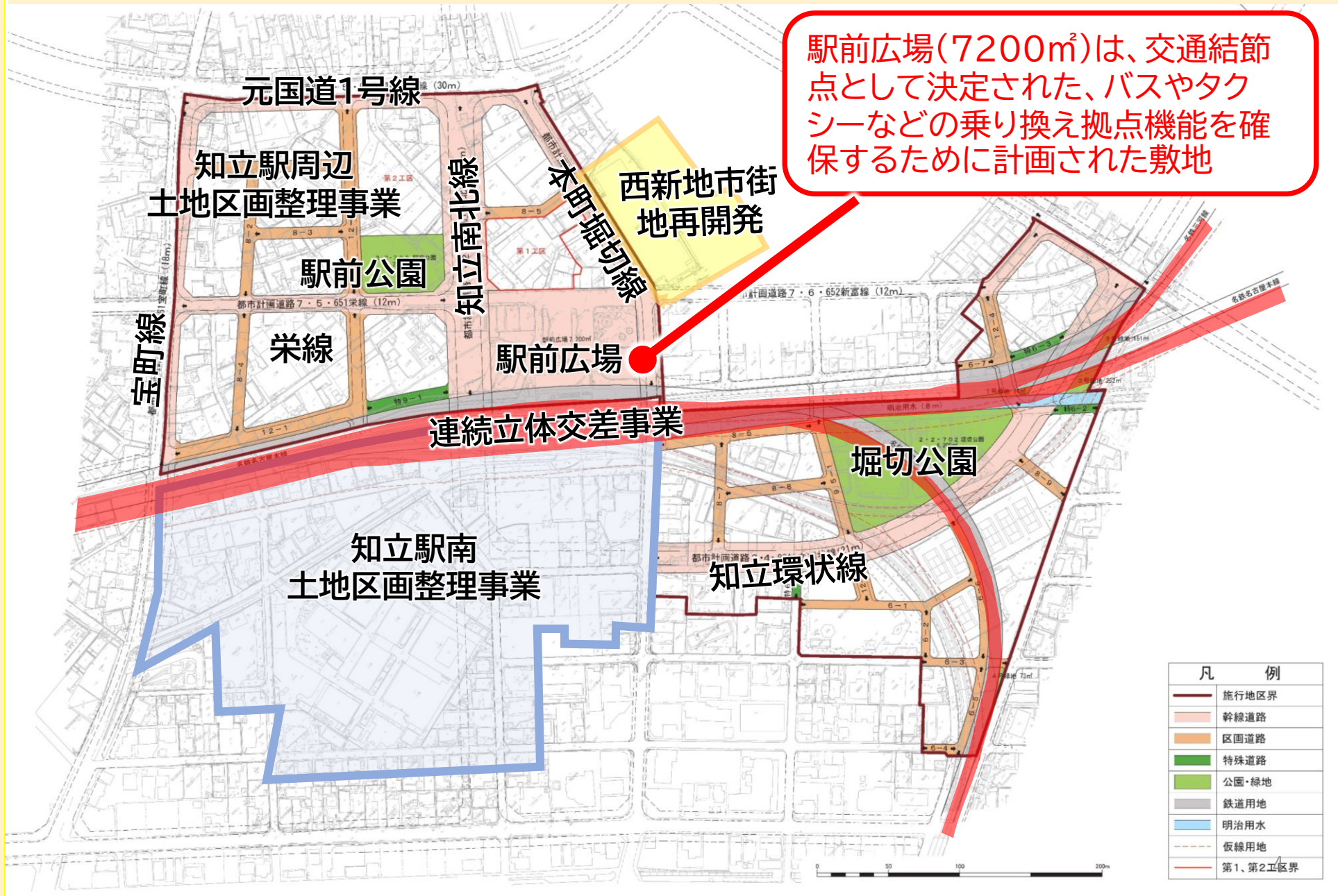
3. 駅前広場検討の経緯

4. 駅前広場のデザイン案

1. 駅周辺都市計画事業の意義



1. 駅周辺都市計画事業の意義



2.賑わいづくりに関する方針



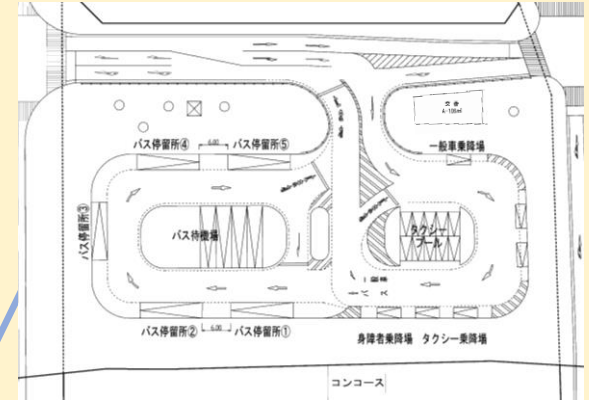
点や線のまちづくりではなく、知立駅周辺エリアに、公園や再開発などの拠点を配置し、それを歩きやすく、歩きたくなる道路でつなぐことで、**面としてまちづくり**を行っていきます。

3.駅前広場検討の経緯

平成10年2月

都市計画決定
(連立・区画整理・道路・駅広・公園)

H12連立着手
H18駅周区画仮換地指定



平成24～
27年度

駅前広場平面計画の検討

平成27～
29年度

知立駅周辺街並みデザインプロジェクト



令和4年度

エリアプラットフォーム設立準備
(にぎわいづくり活動を継続的にこなう仕組みや組織構築を目指す)

令和5
～6年度

エリアプラットフォーム(検討会議、WS等)
交通量調査
駅広デザイン検討(賑わい空間検討)
公園基本検討(駅前公園・堀切公園の在り方検討)



3. 駅前広場検討の経緯

平成24～27年度

駅前広場 平面計画の検討

(市民・商工会・交通事業者・公安等)

平成27～29年度

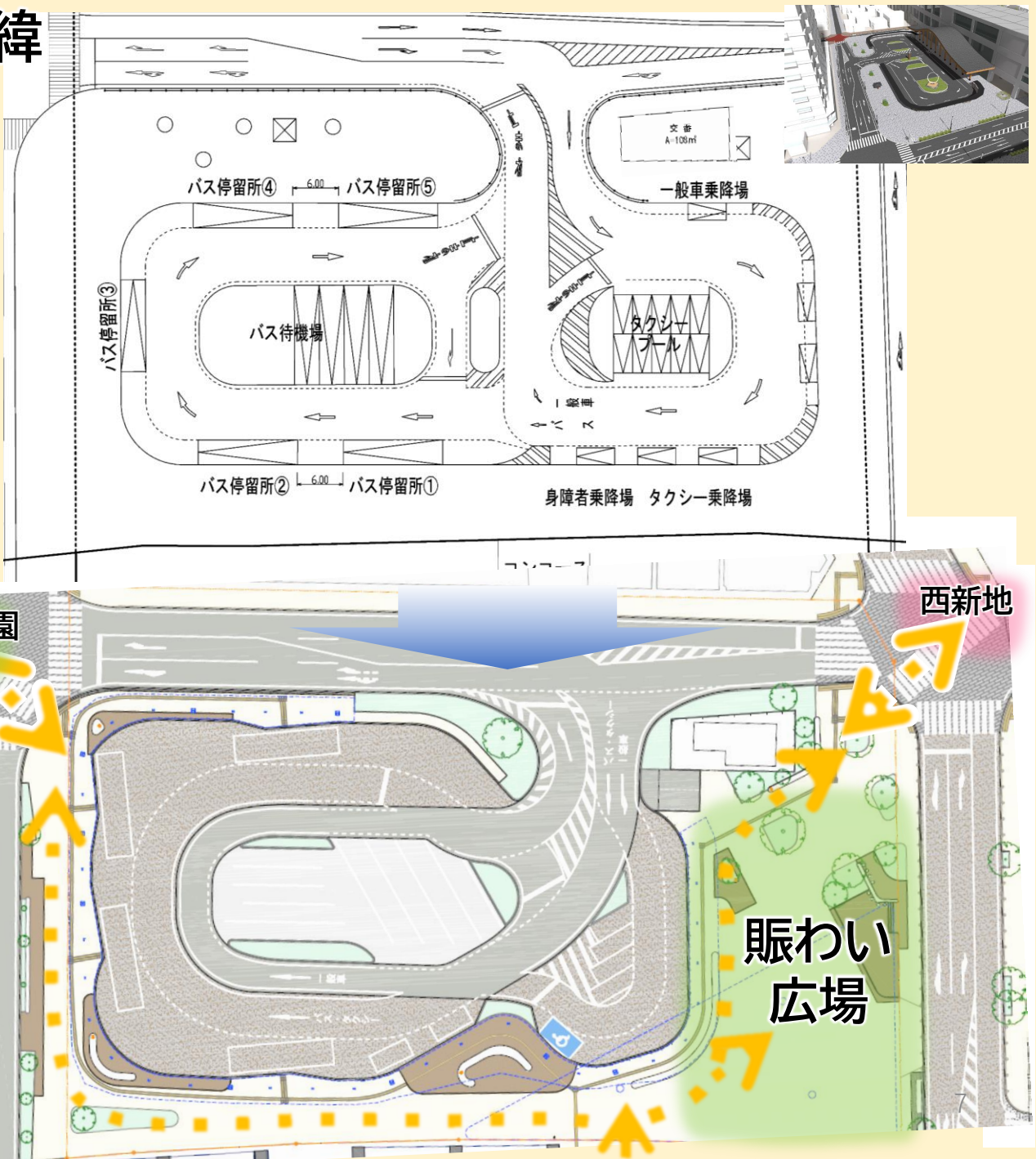
知立駅周辺街並み デザインプロジェクト

(市民・商工会・交通事業者等)

令和5～6年度

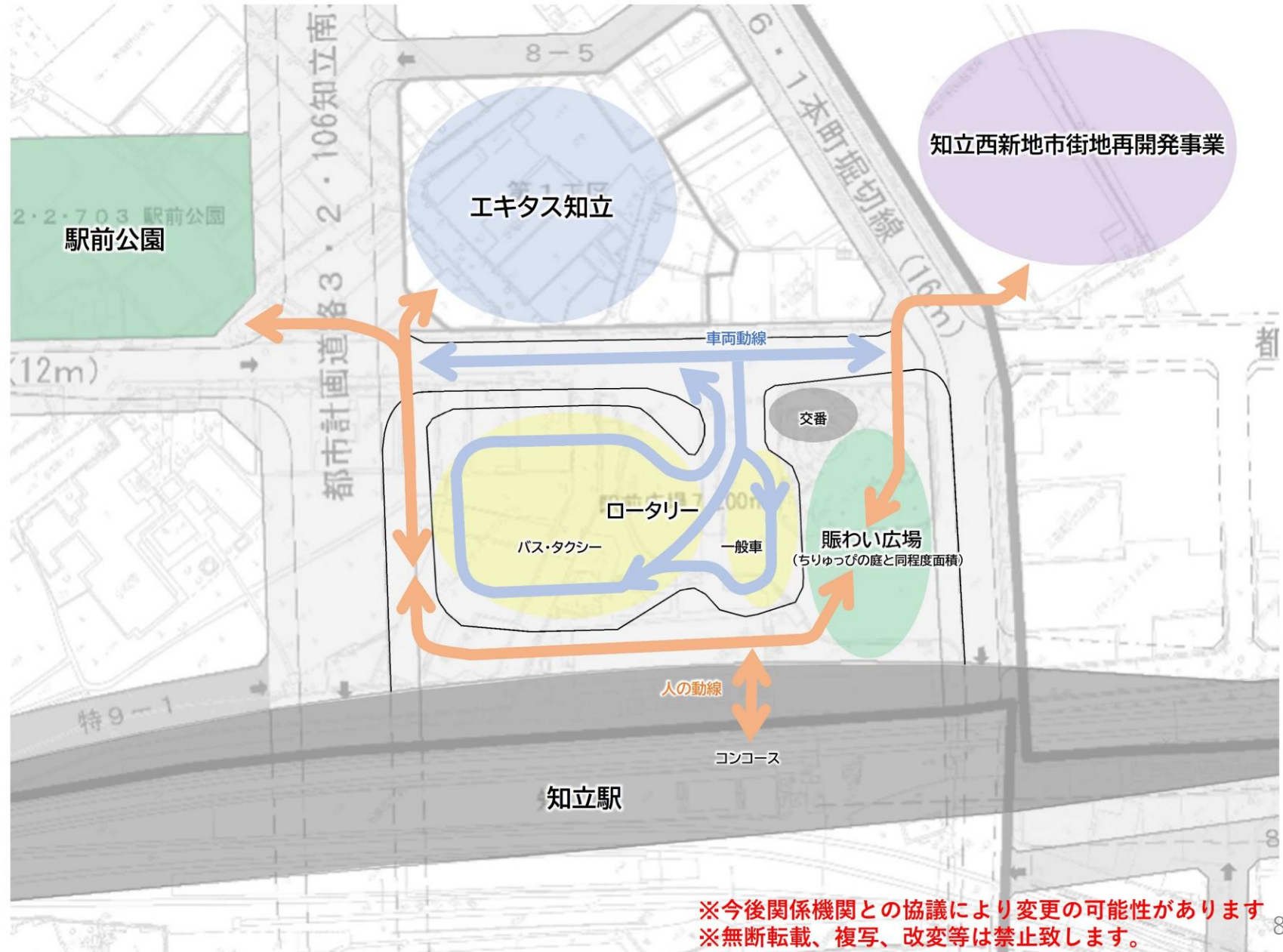
駅前広場 賑わい空間検討

(エリアプラットフォーム、交通事業者、公安等)



3.駅前広場検討の経緯

【令和6年9月11日 第3回エリプラ検討会議】



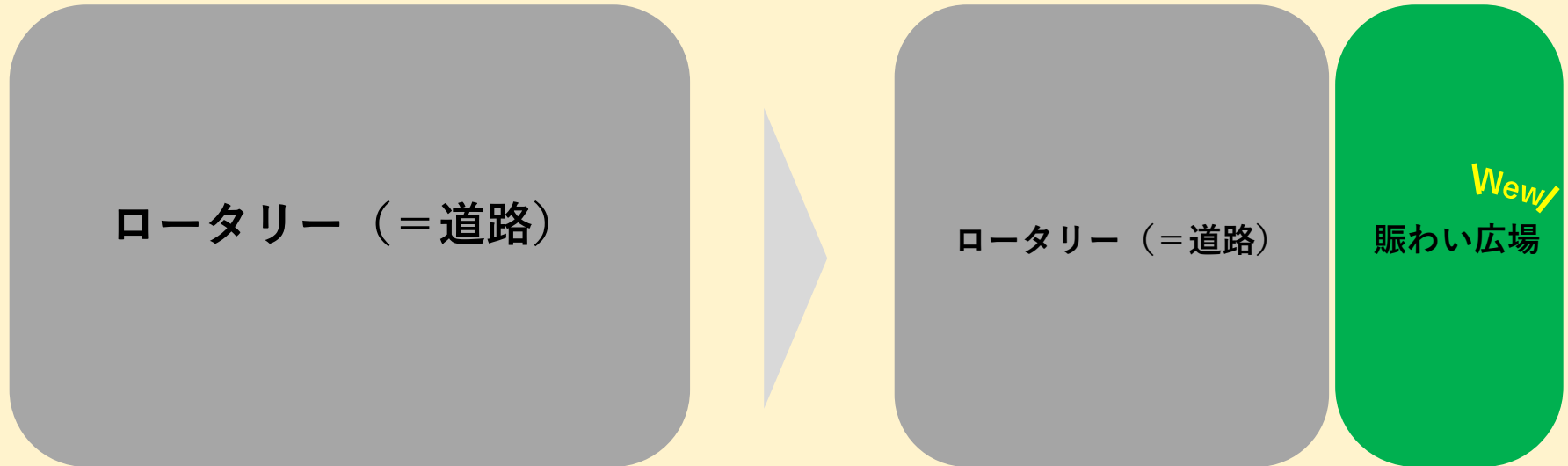
3.駅前広場検討の経緯

【令和7年2月7日 第4回エリプラ検討会議】

● 駅前広場の機能と決定経緯について

【H27～29年度 知立駅周辺街並みデザインプロジェクト】

【現在の計画】



- ・ロータリー機能のみ→ロータリー機能&賑わい広場機能の2つの機能へ
- ・ロータリー機能の面積については、交通事業者(バス・タクシー)等と協議を実施して決定→これ以上の面積減は不可
公共交通の利便性低下につながってしまう
- ・賑わい広場については、ちりゅっぴの庭と同程度の面積を確保。
大規模なイベント等は駅前公園や堀切公園で開催、あるいは駅前広場(賑わい広場)との同時開催を想定
同時開催することによる人の回遊を狙う

3. 駅前広場検討の経緯



バス待ち長蛇の列
車両と歩行者の交錯



一般車の渋滞

円滑で安全な駅前広場が必要

3.駅前広場検討の経緯



イベント開催時

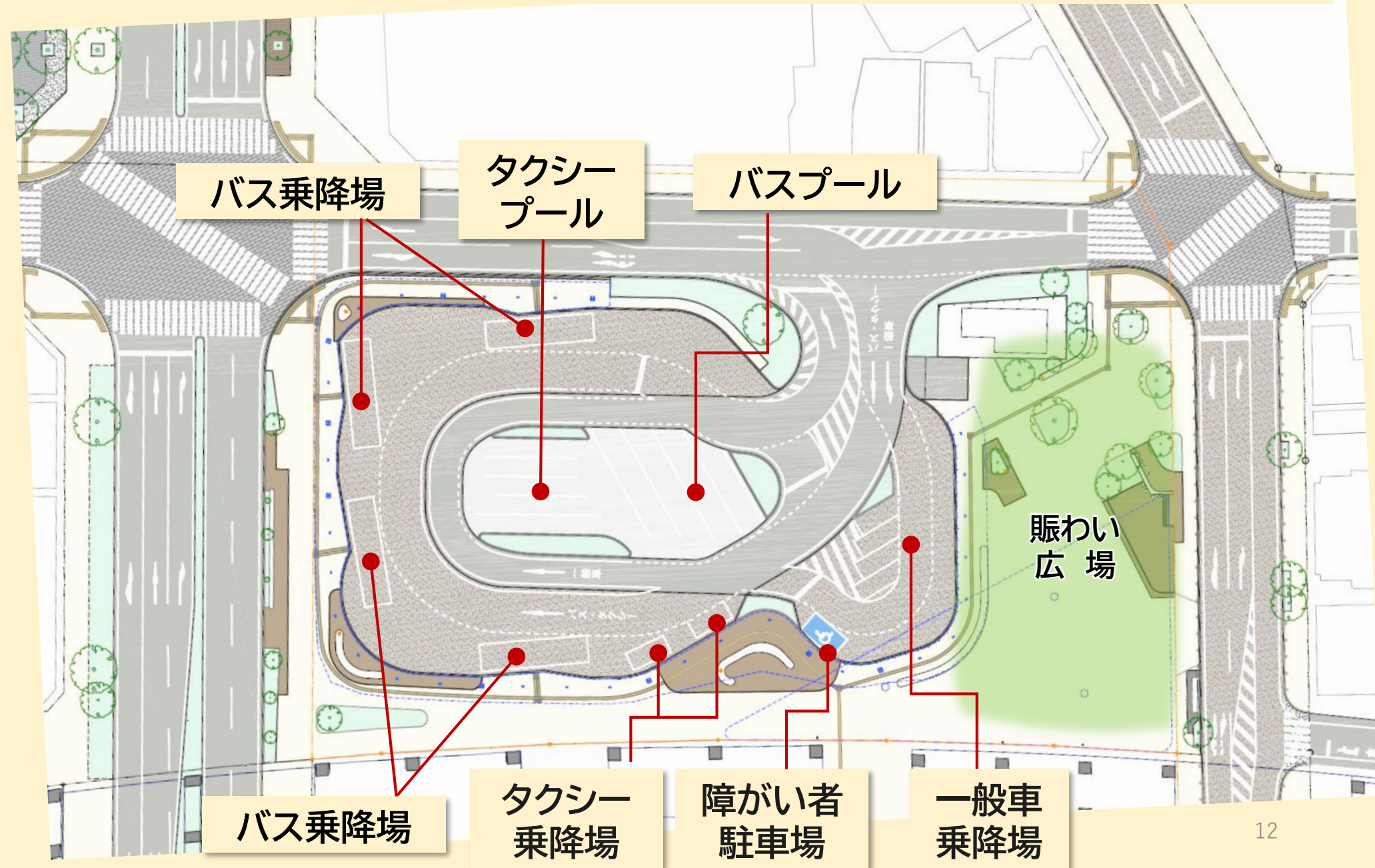


普段の様子

にぎわいの拠点が必要

3. 駅前広場検討の経緯

【平面図】



3. 駅前広場検討の経緯

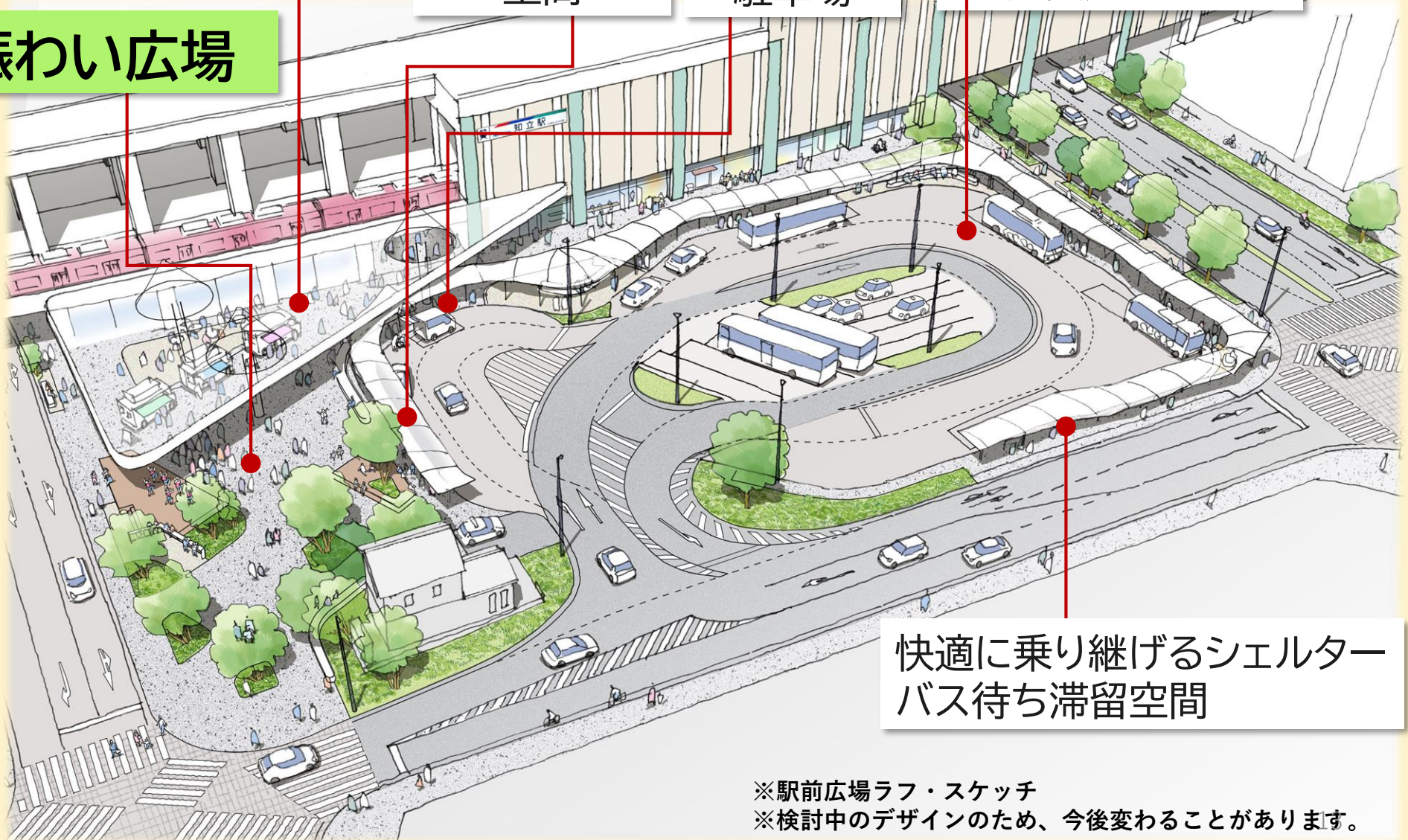
大屋根

一般車乗入
空間

障がい者
駐車場

バスなどの
公共交通スペース

賑わい広場



快適に乗り継げるシェルター
バス待ち滞留空間

※駅前広場ラフ・スケッチ

※検討中のデザインのため、今後変わることがあります。

4. 駅前広場のデザイン案

① 駅とまちをつなぐ

利便性の高いロータリー・乗換空間と、周辺へ回遊しやすい歩行空間を確保

- 安全性と利便性の高い公共交通ロータリーと雨にぬれずに移動できる乗換動線を確保します。
- 西新地再開発施設や駅前公園をはじめ、周辺市街地へと回遊しやすくなる歩行空間を確保します。

② 人と人をつなぐ

日常時もイベント時も心地よい賑わい広場と、人を迎え入れる大屋根を整備

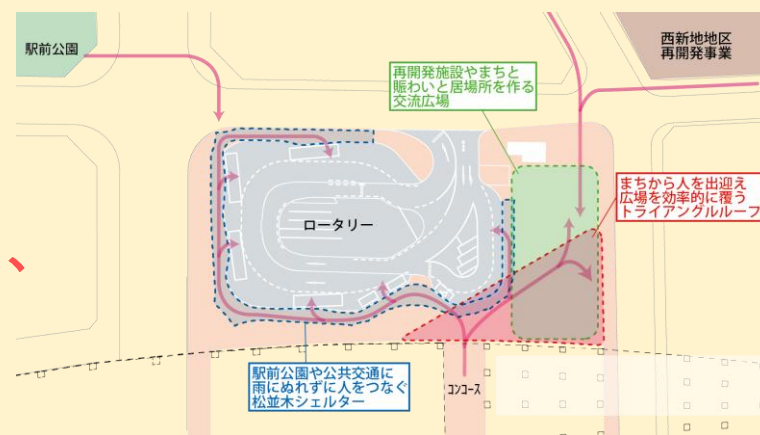
- 日常的な人の居場所、イベント時は活用しやすい賑わい広場を整備し、西新地と一体的に賑わいを生み出します。
- まちから人を迎え入れ、効率的に広場をカバーできる、新たな駅の顔となる大屋根を整備します。

③ 歴史と未来をつなぐ

松並木や知立の歴史を感じるデザインを実現

- 池鯉鮒を感じ、居心地良く安心感ある空間デザインを実現します。

【駅前広場の3つの整備方針】



4.駅前広場のデザイン案

【賑わい広場】

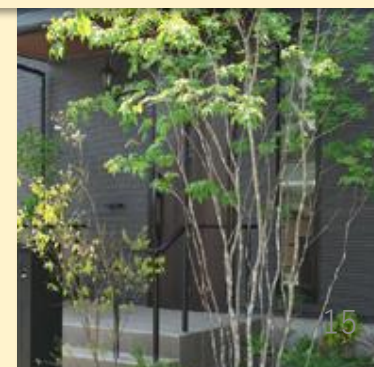
キッチンカー
自由度のある広場

大屋根
行きかう人を出迎える

緑を効果的に配置
やわらかな
居心地よさ

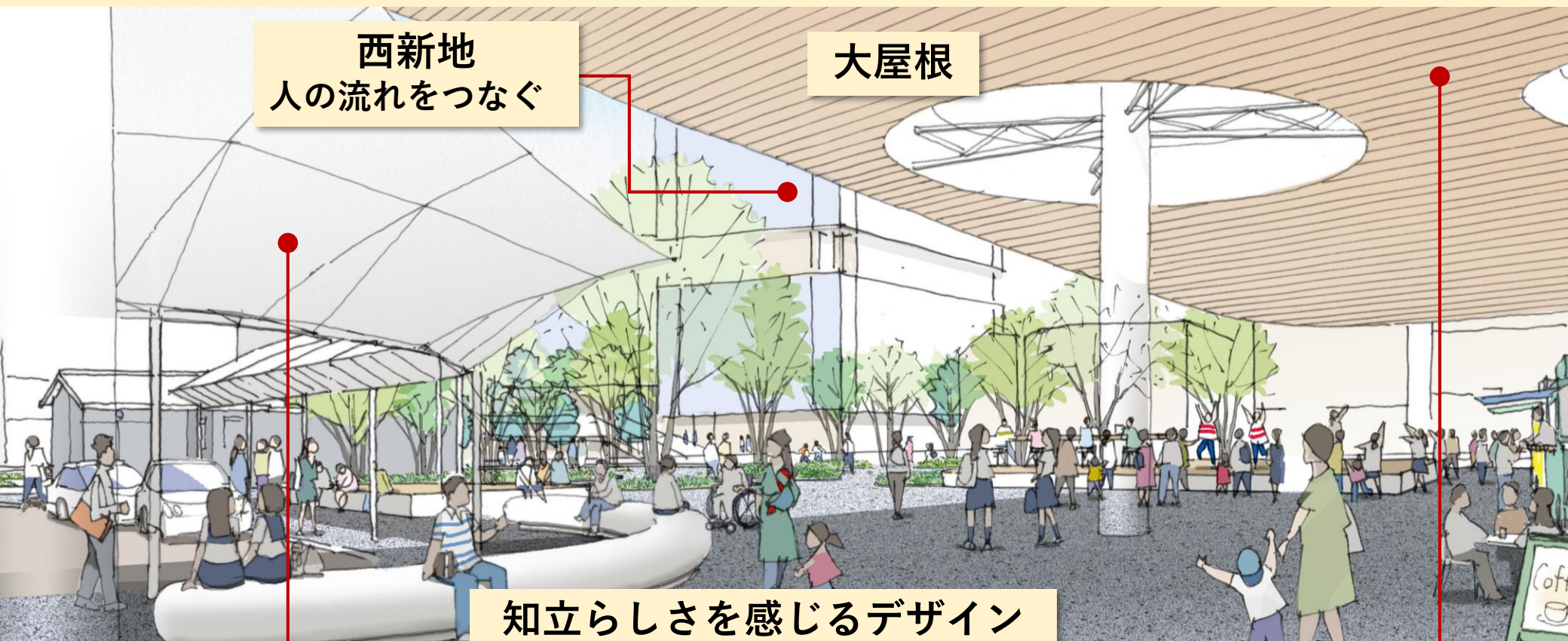
季節を感じる植栽
鉢植えや低木

ベンチ兼ステージ
人が集まる憩い場として縁台を
イメージ、イベント開催



4.駅前広場のデザイン案

【賑わい広場】

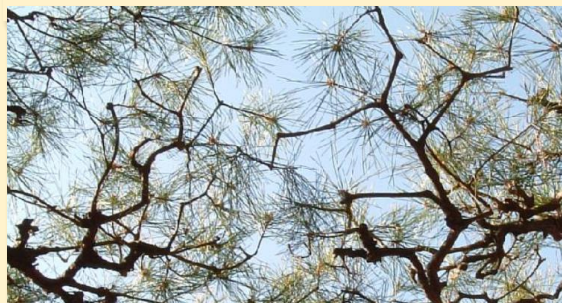


西新地
人の流れをつなぐ

大屋根

知立らしさを感じるデザイン

日差し避け松並木を
イメージのシェルター



宿場町をイメージさせる骨
材を活用した舗装



多宝塔の垂木をイメージした
木材露しの大屋根



進捗状況報告 公共空間デザインプロジェクト

●駅前広場の公共空間の計画・デザイン検討

⑤具体デザイン

ファニチャー デザイン (2/5)

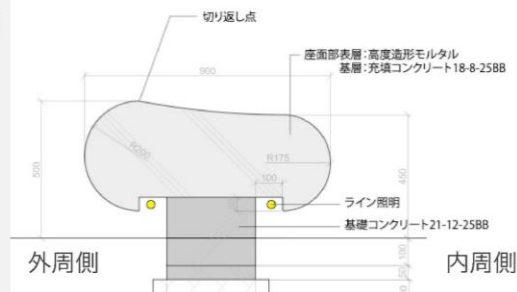
提案

＜ベンチ：多様なファニチャーが多様な居場所を形成＞

- ・ロータリー形状に追従させるロングベンチは、お迎えに来るクルマを見ながらの待合いシーンを演出
- ・あんまきベンチ：通行者にも配慮した断面デザイン
- ・縁台ベンチ：ヘリに座るだけでなく、片付けや寝そべりなどの多様なアクティビティを可能にする



ベンチ断面図



進捗状況報告 公共空間デザインプロジェクト

●駅前広場の公共空間の計画・デザイン検討

⑤具体デザイン

ファニチャー デザイン (3/5)

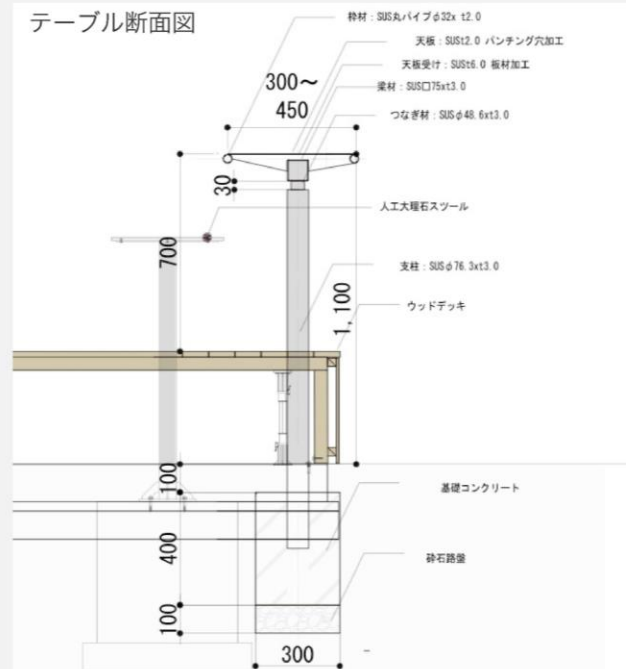
<小上がりデッキ：イベント利用と日常利用が重なり合う>

- ・イベント時だけでなく、日常利用もできるように端部を座具やテーブルと組み合わせたデザイン
- ・カウンターテーブルは、デッキ側・街路側のどちらからも利用可能

提案



テーブル断面図



進捗状況報告 公共空間デザインプロジェクト

障がい者団体・ソフト事業実施団体との意見交換

団体名	必要な整備	各種意見
・障がい者団体	・障がい者用 駐車スペース ・公共交通	・改札口から近い位置希望 ・ミニバスやタクシーも利用 ・雨に濡れないよう移動
・ソフト事業 実施団体	・賑わい広場	【ハード面】 ・運用しやすいイベントスペース (面積の確保、ステージ、トイレ、 倉庫、電源設備、搬入搬出路等) 【ソフト面】 ・利用に伴う申請のしやすさ ・利用に伴うルールづくり

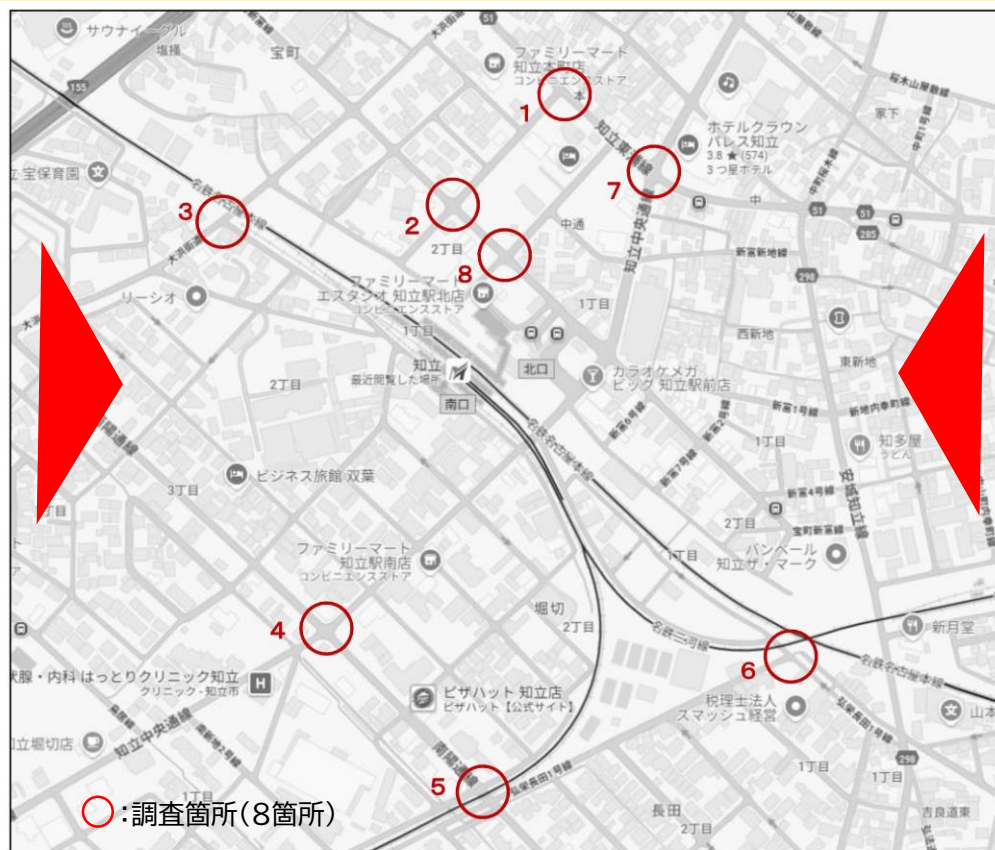
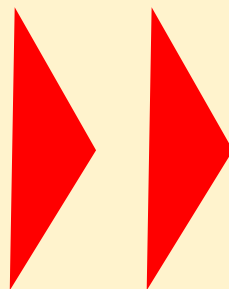
進捗状況報告 公共空間デザインプロジェクト

●高架下空間の活用

自転車交通量調査

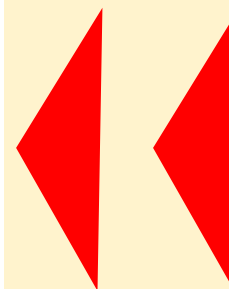
西側からのアクセス

約4割



東側からのアクセス

約6割



進捗状況報告 公共空間デザインプロジェクト

ご清聴ありがとうございました！

